

「当院の患者および職員を対象とした新型コロナウイルス感染流行状況に関する観察研究」 第2回調査結果の報告

【研究者】 愛媛大学医学部附属病院感染制御部を中心とする研究チーム

【採血時期】 2020年12月8日

【検査対象者】 外来患者：1000人、当附属病院職員：407人

【抗体測定場所】 愛媛大学医学部附属病院検査部

【抗 SARS-CoV-2 抗体測定】

販売元：Roche 社（スイス）、測定原理：ECLIA 法、測定機器：cobas8000e602、
検出抗体のタイプ：IgM/IgG（同時検出）、使用抗原：N

【判定基準】 Roche 社で陽性（カットオフ以上）であったものは Abbott 社（アメリカ）でも再検し、共に陽性であったのを陽性と判断した。

【結果】 検査陽性者は 外来患者 1000 人中 0 人、当院職員 407 人中 0 人 であった。

【結語】

愛媛県は都市圏でのような大規模な流行はみられなかった。
当院では主に集中治療を担当しているが、それに伴うスタッフの感染はなかった。

【参考】

愛媛大学第1回調査結果（2020年6月）

抗体陽性者は当院職員 743 人中 0 人、外来患者 1000 人中 1 人 全体で 0.057%

2020年12月におこなわれた厚生労働省の調査

都道府県	対象者	抽出方法	検査時期	人数	陽性者	陽性率
東京都	一般住民	無作為	2020/12/14~25	3,399 人	31 人	0.91%
大阪府				2,746 人	16 人	0.58%
宮城県				2,860 人	4 人	0.14%
愛知県				2,960 人	16 人	0.54%
福岡県				3,078 人	6 人	0.19%

* 厚生労働省が実施する抗体保有調査結果（<https://www.mhlw.go.jp/content/000734482.pdf>）より

検査時期と対象

【採血時期】 2020年12月

【検査対象者】 附属病院職員：407人
外来患者：1000人

附属病院職員に関しては特別健康診断で採血し通常検査後の残りの血清を用いた。

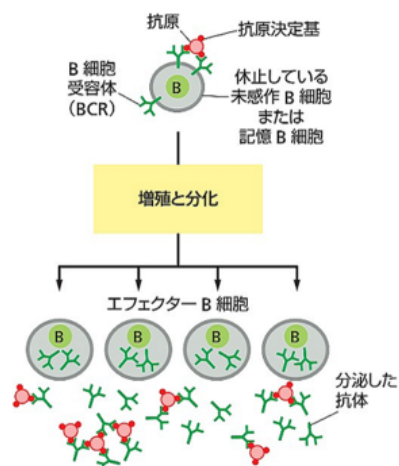
外来患者さんは同時期に当院にて採血を行った人から無作為に選んだ1000人の残余血清を匿名化し検査を行った。

検査結果

	陽性者／検査人数	陽性率
当院職員	0/407	0%
外来患者	0/1000	0%
全検体	0/1407	0%

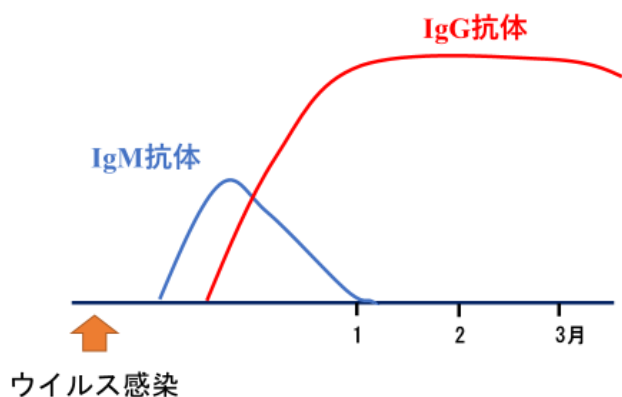
抗体

THE CELL 細胞の分子生物学より

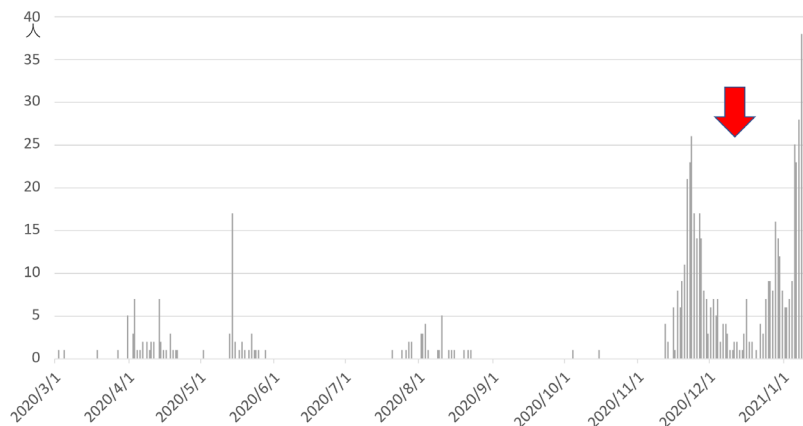


過去の一定期間にそのウイルスに感染した証拠となる。

検出される抗体の推移



愛媛県におけるCOVID-19届出数の推移



附属病院職員

人数	407人	医師	100人
男女比	1:2	看護師	255人
年齢幅	23~65歳	検査・放射線部門	44人
平均年齢	45歳	その他	8人

外来患者さん

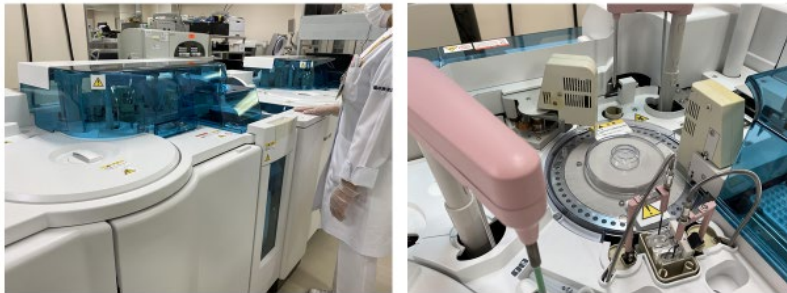
人数	1000人	内科	525人
男女比	1:1.1	外科	151人
年齢幅	0~97歳	産婦人科	68人
平均年齢	60歳	泌尿器科	75人
		小児科	38人
		皮膚科	24人
		耳鼻咽喉科	21人
		整形外科	18人
		その他	80人

検査機器

【抗体測定場所】愛媛大学医学部附属病院検査部

【抗SARS-CoV-2抗体測定】

販売元：Roche社（スイス）、測定原理：ECLIA（化学発光法）、測定機器：cobas8000e602



他の都市との比較

都道府県	対象者	検査時期	人数	陽性者	陽性率
東京都	一般住民	2020/12/14~25	3,399人	31人	0.91%
大阪府			2,746人	16人	0.58%
宮城県			2,860人	4人	0.14%
愛知県			2,960人	16人	0.54%
福岡県			3,078人	6人	0.19%
愛媛県 (当院)	外来患者 病院職員	2020/12/8~11	1,407人	0人	0%

*厚生労働省が実施する抗体保有調査結果 (<https://www.mhlw.go.jp/content/000734482.pdf>) より

結語

- 愛媛県においては、都市圏で見られたような大規模な新型コロナウイルスの流行はみられなかった。
- 愛媛大学病院では、集中治療が必要な重症患者さんを中心に診療を行っているが、スタッフの感染はなかった。

※ 今回の抗体検査は研究の一環として行ったものです。新型コロナウイルス抗体は保険診療として認められておらず、附属病院の診療として検査することはできません。